

## 海況・魚群速報(別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果)

平成21年5月15日  
大分県農林水産研究センター  
水産試験場

県水産試験場の調査船「豊洋」による別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果は、次のとおりである。

調査日： 5月11-14日

## 【海況】

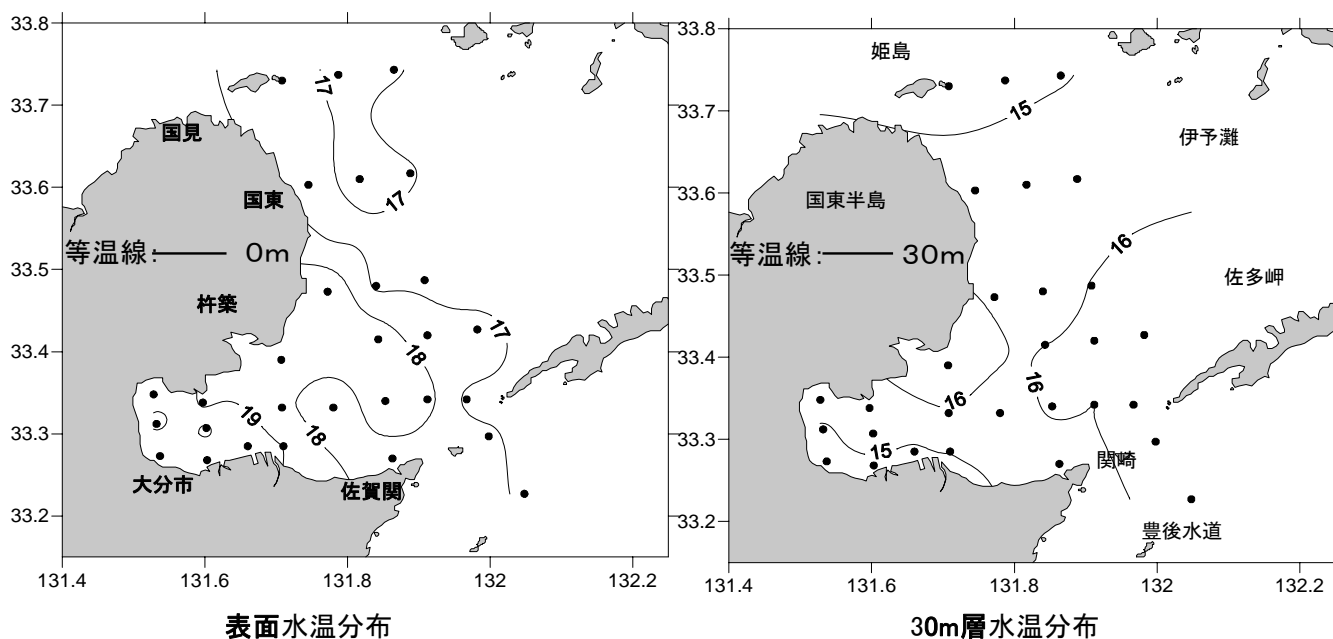
(別府湾の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
別府湾	表面	19.1	+ 5.7	+ 1.9	+ 1.9
	底層(-30m)	15.4	+ 3.5	+ 0.5	+ 1.4

(国東半島沖合の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
国東半島 沖合	表面	17.3	+ 3.8	+ 1.2	+ 1.5
	底層(-30m)	15.6	+ 2.6	+ 0.3	+ 1.1

(水温分布)



## 「海況概要」

水温は別府湾、伊予灘で平年より高め基調。

別府湾・国東半島沖合の表面水温は16～20℃台を示し、別府湾では前年より1.9℃高めで、平年より1.9℃高め。国東半島沖合では前年より1.2℃高めで、平年より1.5℃高めであった。

水深30m層は14～16℃台を示し、別府湾では前年より0.5℃高めで、平年より1.4℃高め。国東半島沖合では前年より0.3℃高めで、平年より1.1℃高めであった。

(黒潮情報：海上保安庁)

5月6日から13日の観測によると、九州東岸沖の黒潮内水温は22～24℃を示し、前年同期並みであった。

黒潮は都井岬・足摺岬沖でやや離岸している。

## 【魚群分布】

s21-5号

主な魚群の出現状況は、下表及び下図のとおりである。

魚群の出現数は、昨年同期の調査に比べて多かった(但し、調査船直下の観測による範囲内)。

(魚群の出現状況)

日	時刻	魚群の状況				水温 ℃	水深 m	魚の体長* cm	
		位置	大きさ	出現個数	反応水深(m)*				密度
5/11	13:08 ~	高島南	中	2	25-60	中	16.4	50-70	4
5/11	13:48 ~	平瀬付近	中	5	70-B	中	18.3	90-100	21-28
5/11	15:00 ~	st. 20付近	連	-	25-B	淡	18.2	40	7
5/11	15:31 ~	st. 20-26	連	-	40-B	中	20.5	47	14
5/11	16:00	st. 26-別府	中	1	10-40	濃	19.8	58	56
5/12	7:56	st. 31手前	小	多	B	中、濃	19.1	68	0-4
5/12	8:40	st. 30-29	中、大	5	25-B	中、濃	20.2	49	56
5/12	14:06	st. 11	中	1	5	淡	18.8	22	0-4
5/13	8:52	st. 9-1	中	2	20-B	中	16.3	58	4-14
5/14	8:29 ~	st. 3-5	小	多	20-30	淡	16.4	45	0-7
5/14	10:57 ~	st. 13-14	小	多	50-60	淡	16.5	70	0-4

\* 反応水深のうち、Bは底

\* 魚群の構成主体となった魚の体長(計量魚探により算出された推定体長cm)

